

# エル・ネット「オープンカレッジ」 News

## インターネットで探る学びのワンダーランド 常磐大学 独自収録現場をたずねて

今回は、常磐大学の講座について、講座をプロデュースしていらっしゃる坂井知志先生にお話を伺い、講座収録の一部を見学させていただきました。この講座は、大学独自収録モデル事業の一つで、常磐大学のスタッフにより学内で収録が行われました。このモデル事業の長所は、低コストで収録できること、また各大学の特色を生かした魅力のある講座を作り上げ、提供することができる点です。

常磐大学の講座「インターネットで探る学びのワンダーランド～ボランティアの世界、ミュージアムの世界～」（全3回）は、4



収録風景より

人の先生方と常磐大学の学生5人の共同で進められます。ボランティア担当の池田先生と、ミュージアム担当の塚原先生が、学生と共にインターネットを使いながら調べ学習をしたりディスカッションを行ったりします。その際には、インターネットでの検索の仕方や英語のホームページに入った場合の英語の読み方、翻訳サイトの使い方、さらにパワーポイントを使ってのプレゼンテーションの仕方なども合わせて学習することになり、その点について、中村先生と塩先生に随時説明をいただきます。このように、各先生方の専門分野を合わせることによって、より実質的な授業を作り上げていくことができます。

さらに、この収録された授業を全3回の講座に編集する作業が行われます。授業の収録・編集を担当する大学の専門スタッフの方々が収録を行い、編集作業をして、はじめて講座として形が出来る上がるのです。常磐大学には、収録した

ものを編集するパソコンソフトや画面の合成や変形などによって映像を効果的に作成するためのAV機器が整っています。

出来上がったテープは、一度、協議会に送り、著作権や使用された用語のチェックを受けます。そのため著作権処理や用語についても、ある程度の知識が大学側に求められます。

一方、受講生にとっては、この講座からボランティアとミュージアムについての知識を学ぶことはもちろん、一緒にインターネットで検索をしながら受講することによって、その知の世界と一緒に体験し、さらにその知を自分なりに拡散していく力を身につけることとなるでしょう。

それぞれの大学の特色ある講座を受講できることは、貴重な学習の機会となります。遠隔授業やインターネットが、そのような学びのワンダーランドに入っていくための最大のツールになっていることを発見できると思います。（五十嵐牧子）

### 講座紹介

#### 徳島大学

シニア情報ライフ入門 吉田敦也（徳島大学教授）

- 12月6日(木)「心を癒すパソコン・インターネット」
- 12月13日(木)「遠隔生涯学習システムへの期待」
- 12月20日(木)「ロボット時代のシニアライフ」

この講座は、エル・ネット「オープンカレッジ」の放送を視聴しながら、講師とインターネットで「チャット」をするという講座です。情報工学、教育工学がご専門で、シニアのためのパソコン入門講座を数多く手がけられている吉田敦也先生は、今回の講座を、エル・ネットの方向の講義だけで、終わらせたくない、とにかく受講者とコミュニケーションができればということで、「チャット」を交えた番組づくりを計画されました。

講義は、15分講義、15分チャット、また15分講義、また15分チャットというふうに進みます。受信施設では、インターネットにつながったパソコンから、受講者の代表の方が会場からの質問や意見を入力していきます。どんな授業が展開されるのか、興味津々です。

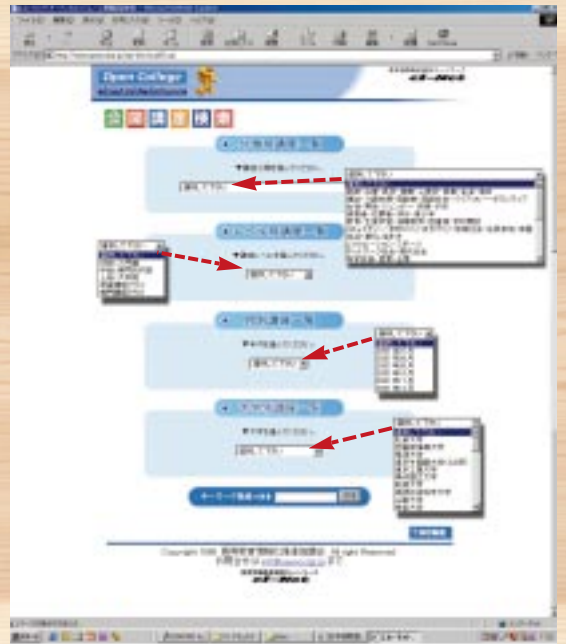
吉田先生は、当日のチャットのために、11月10日(土)、大阪市内で講習会を実施することになっています。

IT講習を受けられた方、上達して早く孫とメールやチャットをしてみたいという方にもおすすめの講座。

詳しくは、<http://www.cue.tokushima-u.ac.jp> また、事前講習会についての問い合わせは、088-656-7281（徳島大学・大学開放実践センター）まで。

## ホームページ 「公開講座検索」について

エル・ネット「オープンカレッジ」では、全部で154講義が行われています。多様な講義の中から自分に適した講座を探すためには、ホームページ検索が効果的です。エル・ネット「オープンカレッジ」のホームページ「公開講座検索」からは、さまざまな方法で講座の検索をすることが可能です。例えば「分類別」「レベル別」「月別」「大学別」から、それぞれ講座を探すことができます。また、自分でキーワードを入れて検索をする「キーワード検索」もあります。そこから、各講座の放送日程やチャンネル、講義内容の詳細を知ることができます。さらに、講座受講に必要なテキスト（PDFファイル）を取り出すこともできますし、講師に質問をするためのメールや掲示板にもリンクしています。随時、更新していますので、ホームページで最新の情報を得ながら、有効にご活用ください。



## 11月12月の主な番組紹介

URL <http://www.opencol.gr.jp>  
ですべての講座の詳細情報が得られます

### ◆札幌学院大学

講座：北の文化－考古学と言語学から－

テーマ：③アイヌ語(1)アイヌ語の概略・日本語との系統論をめぐって

④アイヌ語(2)アイヌ語の地名・アイヌ口頭文芸

(奥田統己助教授)

放送予定：③11月2日(金) 10:00～11:30

④11月9日(金) 10:00～11:30

本講座は、北海道の文化を物とことばを手がかりとして探ります。第3回、4回は言葉の面として、アイヌ語を取り上げ、その歴史をどのようにして探れるのか、またアイヌ語による物語からどのように文化を読み取れるかを考えます。第3回では、アイヌ語の概略を日本語の発音・文法・語彙と対比しながら説明します。第4回では、アイヌ語に由来する数多くの地名を、山田秀三の業績を中心に概観します。

### ◆東京都立保健科学大学

講座：肩こり・腰痛予防の運動

テーマ：①肩こり予防の運動(柳澤健教授、林謙司助手)

②腰痛予防の運動(竹井仁講師、中俣修助手)

放送予定：①11月13日(火) 10:00～12:00

②11月20日(火) 10:00～12:00

肩こりや腰痛でお困りの方は、多いはずです。本講座では、肩こりや腰痛がどのようにして生じるのかをOHPなどを使用して講義します。その上で、日常生活でできる予防法やストレッチング、軽減法などについて、実演をまじえながら解説していきます。本講座は、大学のオープンセミナーの一部となっており、そのセミナーの受講生とともに実演されます。

### ◆琉球大学

講座：沖縄の自然からの警告

テーマ：①はじめに・干潟は掃除機(土屋誠教授)

イリオモテヤマネコの嘆き(伊澤雅子助教授)

放送予定：①11月16日(金) 10:00～11:30

自然が豊かな沖縄ですが、さまざまな人間の活動によって攪乱を受けているのも事実です。私たちは、その現状を

自覚、認識し、それを修復するにはどのようにしたらよいかを考えていかななくてはなりません。本講座では、沖縄の多様な自然や動物や植物の現状から、攪乱された生態系について認識を深めていきます。第1回は、「干潟」が取り上げられます。沖縄において海岸埋め立ての対象となり、急速に面積が減少してきた干潟の役割を有機物の浄化作用を中心に解説します。

### ◆淑徳短期大学

講座：健康と福祉

テーマ：①食と健康 「健康づくりのための食生活」

(加藤栄子教授)

②食と健康 「現代における食生活の問題点」

(関千代子助教授)

放送予定：①11月27日(火) 10:00～12:00

②11月29日(木) 10:00～12:00

食を取りまく環境は、社会の変化とともに大きく変化し、現在の日本は飽食社会とも言われています。このように私たちは豊かなものに囲まれて、何不自由なく生活しています。しかし、一方で複雑化した社会構造や豊かさの中で、誤った食事や生活習慣・ストレスなどによって、がんや糖尿病といった生活習慣病が増加しているのも事実です。適正な食生活の実践や適度な運動・休息、食生活の問題点について学習し、それらを予防したいものです。



### ◆愛知教育大学

講座：使える英語を身につけよう—多言語環境下での英語コミュニケーション—

テーマ：①年少者英語教育を考える

(安武知子教授、ロビンズ・アントニー チャールズ助教授)

②世界各地で生きている英語

(安武知子教授、北野浩章助教授)

放送予定：①12月1日(土) 16:00~17:30

②12月15日(土) 16:00~17:30

これからの国際社会に向けて、日本人に限らず、英語を使う能力を身に付けることは大切です。特に、多言語環境にある地域や英語を第二外国語としている国々では、どのようにして英語を学んでいるのでしょうか。本講座では、言葉と人間の思考法との密接な結びつきから、諸外国における年少者英語教育の現状を紹介し、また、実際に英語を第二言語とするフィリピン人ゲストと一緒に、多言語社会における生きた英語の姿を紹介し、多角的な視点から、英語によるコミュニケーションを有意義なものとするための知識・情報を提供することが本講座の目的です。

### ◆山梨大学

講座：教員リフレッシュ研修

テーマ：①博物館展示をとらえてみた山梨の考古学

(新津健 山梨県立考古博物館・学芸課長)

②総合的学習と学校教育 (林尚示専任講師)

放送予定：①12月11日(火) 10:00~11:00

②12月25日(火) 10:00~11:00

本講座は、教師を対象にしており、教師が自分の授業を見直して気づくための内省的な力量形成の研修プログラムです。

特に総合的学習を実施していくに当たり、第1回目の講義では、地域の教育施設である山梨県立考古博物館を紹介、第2回目の講義では、総合的学習と学校教育との関係について論じます。総合的な学習の時間を進めていくには、地域の教育施設にどのような教材があるのか、そして授業でどのように活用できるのかを知っておく必要があります。また、学習者の興味を引き出し、授業を組み立てていく教師の力量も問われてきます。本講座では、各学校や教師集団の特色を發揮しやすい「総合的な学習の時間」を通じて学校教育を検討していきます。

### ◆弘前大学

講座：世界遺産白神山地の魅力

テーマ：①白神山地の豊かな自然生態系と人 (牧田肇教授)

②白神山地の動物と人間の共生—ニホンザル問題を中心に— (城田安幸助教授)

③白神山地と酸性雨 (鶴見寛教授)

放送予定：①12月14日(金) 10:00~11:30

②12月15日(土) 10:00~11:30

③12月15日(土) 14:00~15:30

世界自然遺産に指定された白神山地は、青森県南西部から秋田県北西部に広がる原生的なブナ林を主体とした山地です。ここには、豊かな自然とそこに棲む動物たちを背景に、伝統的な自然資源を利用した文化がありました。しかし、近年、この地域でニホンザルが増加し、近隣の人里に現れ、農作物などに被害を及ぼし、人間との「共生」が課題となっています。また、酸性雨などの環境破壊も進行しています。本講座では、人間を含めた環境問題を問い直し、白神山地の魅力を確認していきます。

## エル・ネット「オープンカレッジ」 11月放送日(予定)

講座の内容、放送の日時は変更されることがあります。ご了承ください。

日付	実施大学/時間/講座名/回数/テーマ/講師
1日(木)	新潟大学 10:00~11:30 『ビジュアル腎臓病「慢性腎不全」』④「研究の最前線」 山本 格 (新潟大学教授)
2日(金)	札幌学院大学 10:00~11:30 『北の文化—考古学と言語学から—』③「アイヌ語(1) アイヌ語の概略・日本語との系統論をめぐって」 奥田 統己 (札幌学院大学助教授)
6日(火)	跡見学園女子大学 10:00~11:30 『21世紀を考える—「知らない世界」の大きな変化—』③「フランクフルト資本市場—ドイツ経済はどこへ進むのか—」 山田 徹雄 (跡見学園女子大学教授)
8日(木)	常磐大学 10:00~11:30 『インターネットで探る学びのワンダーランド—ボランティアの世界、ミュージアムの世界—』① 『インターネットで探る学びのワンダーランド—ボランティアの世界、ミュージアムの世界—』 池田 幸也 (常磐大学助教授) 他
9日(金)	札幌学院大学 10:00~11:30 『北の文化—考古学と言語学から—』④「アイヌ語(2) アイヌ語地名・アイヌ口頭文芸」 奥田 統己 (札幌学院大学助教授)
13日(火)	東京都立保健科学大学 10:00~12:00 『肩こり・腰痛予防の運動』①「肩こり予防の運動」 柳澤 健 (東京都立保健科学大学教授) 林 謙司 (東京都立保健科学大学助手)
15日(木)	常磐大学 10:00~11:30 『インターネットで探る学びのワンダーランド—ボランティアの世界、ミュージアムの世界—』② 『インターネットで探る学びのワンダーランド—ボランティアの世界、ミュージアムの世界—』 池田 幸也 (常磐大学助教授) 他
16日(金)	琉球大学 10:00~11:30 『沖縄の自然から警告』①「はじめに・干潟は掃除機(土屋誠) / イリオモテヤマネコの嘆き(伊澤雅子)」 土屋 誠 (琉球大学教授) 伊澤 雅子 (琉球大学助教授)

日付	実施大学/時間/講座名/回数/テーマ/講師
17日(土)	琉球大学 10:00~11:30 『沖縄の自然から警告』②「沖縄の植物はどこから来て、どこへ行くのか(横田昌嗣) / 森は貯蔵庫(萩原秋男)」 萩原 秋男 (琉球大学教授) 横田 昌嗣 (琉球大学助教授)
17日(土)	琉球大学 14:00~15:30 『沖縄の自然から警告』③「赤土による水域汚染(渡久山章) / マングローブ生態系における水生動物の役割(諸喜田茂充)」 諸喜田茂充 (琉球大学教授) 渡久山 章 (琉球大学教授)
17日(土)	琉球大学 16:00~17:30 『沖縄の自然から警告』④「沖縄島にサンゴは戻ってくるのか?(酒井一彦) / 生き物からの警告(まとめ、土屋 誠)」 土屋 誠 (琉球大学教授) 酒井 一彦 (琉球大学助教授)
20日(火)	東京都立保健科学大学 10:00~12:00 『肩こり・腰痛予防の運動』②「腰痛予防の運動」 竹井 仁 (東京都立保健科学大学講師) 中俣 修 (東京都立保健科学大学助手)
22日(木)	常磐大学 10:00~11:30 『インターネットで探る学びのワンダーランド—ボランティアの世界、ミュージアムの世界—』③ 『インターネットで探る学びのワンダーランド—ボランティアの世界、ミュージアムの世界—』 池田 幸也 (常磐大学助教授) 他
27日(火)	淑徳短期大学 10:00~12:00 『健康と福祉』①「食と健康—「健康づくりのための食生活」」 加藤 栄子 (淑徳短期大学教授)
29日(木)	淑徳短期大学 10:00~12:00 『健康と福祉』②「食と健康—「現代における食生活の問題点」」 関 千代子 (淑徳短期大学助教授)
30日(金)	常磐大学 10:00~11:20 『ボランティア・マネジメント入門』④「グループ・団体の効果的運営の理念と実際」 吉永 宏 (常磐大学教授)

# エル・ネット「オープンカレッジ」 12月放送日（予定）

講座の内容、放送の日時は変更されることがあります。ご了承ください。

日付	実施大学／時間／講座名／回数／テーマ／講師
1日 (土)	淑徳短期大学 10:00～12:00 『健康と福祉』③「福祉の思想と現代的課題」 亀山 幸吉（淑徳短期大学教授）
1日 (土)	横浜国立大学 14:00～15:30 『現代社会を支えるセンサ技術—演示技術で紐解くセンサのしくみ—』 ①「センサ概論」 朝倉 祝治（横浜国立大学教授）
1日 (土)	愛知教育大学 16:00～17:30 『使える英語を身につけよう—多言語環境下での英語コミュニケーション』①「年少者英語教育を考える」 安武 知子（愛知教育大学教授） ロビンズ・アントニー チャールズ（愛知教育大学助教授）
4日 (火)	淑徳短期大学 10:00～12:00 『健康と福祉』④「ボランティアと福祉文化の形成」 塩野 敬祐（淑徳短期大学教授）
6日 (木)	徳島大学 10:00～10:20 『シニア情報ライフ入門』①「心を癒すパソコン・インターネット」 吉田 敦也（徳島大学教授）
7日 (金)	横浜国立大学 10:00～11:30 『現代社会を支えるセンサ技術—演示技術で紐解くセンサのしくみ—』 ②「温湿度環境をはかるセンサ」 岡崎 慎司（横浜国立大学助手）
11日 (火)	山梨大学 10:00～11:00 『教員リフレッシュ研修』①「博物館展示をとおしてみた山梨の考古学」 新津 健（山梨県立考古博物館・学芸課長）
13日 (木)	徳島大学 10:00～10:20 『シニア情報ライフ入門』②「遠隔生涯学習システムへの期待」 吉田 敦也（徳島大学教授）
14日 (金)	弘前大学 10:00～11:30 『世界遺産白神山地の魅力』①「白神山地の豊かな自然生態系と人」 牧田 肇（弘前大学教授）

日付	実施大学／時間／講座名／回数／テーマ／講師
15日 (土)	弘前大学 10:00～11:30 『世界遺産白神山地の魅力』②「白神山地の動物と人間の共生—二ホンザル問題を中心に—」 城田 安幸（弘前大学助教授）
15日 (土)	弘前大学 14:00～15:30 『世界遺産白神山地の魅力』③「白神山地と酸性雨」 鶴見 實（弘前大学教授）
15日 (土)	愛知教育大学 16:00～17:30 『使える英語を身につけよう—多言語環境下での英語コミュニケーション』②「世界各地で生きている英語」 安武 知子（愛知教育大学教授）北野 浩章（愛知教育大学助教授）
18日 (火)	東京都立科学技術大学 10:00～11:00 『振動と音の制御』①「振動と音の制御」 田中 信雄（東京都立科学技術大学教授）
20日 (木)	徳島大学 10:00～10:20 『シニア情報ライフ入門』③「ロボット時代のシニアライフ」 吉田 敦也（徳島大学教授）
21日 (金)	横浜国立大学 10:00～11:30 『現代社会を支えるセンサ技術—演示技術で紐解くセンサのしくみ—』 ③「大気環境を監視するセンサ」 岡崎 慎司（横浜国立大学助手）
25日 (火)	山梨大学 10:00～11:00 『教員リフレッシュ研修』②「総合的学習と学校教育」 林 尚示（山梨大学専任講師）
27日 (木)	岐阜大学 10:00～11:30 『生涯学習教育研究センター』①「思春期の子どもの問題行動とその心」 宮本 正一（岐阜大学教授）
27日 (木)	岐阜大学 14:00～15:30 『生涯学習教育研究センター』②「思春期のこどもの問題行動の悩み、親はいかにあるべきか」 宮本 正一（岐阜大学教授）

## ◆テキスト申込書◆

※テキストはホームページ（URL:<http://www.opencol.gr.jp>）からPDFファイルでダウンロードすることも可能です。

ふりがな ご氏名	電話	FAX
ふりがな ご住所 〒	Eメールアドレス	

■開講 平成13年7月～平成14年2月 46大学／53講座 ■受講料 無料

■テキスト代 実費（送料別）。ただし1講座につき100名までモニターとして無料（送料共）となります。

●受講希望の大学名・講座名・回数をご記入ください。テキストは実施講座ごとに作成します。（講座の全ての回を希望する場合は全回とご記入下さい）

大学名	講座名	回数
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

URL:<http://www.opencol.gr.jp>

ですべての講座の詳細情報が得られます

FAX送付先：03-3595-

